

令和元年度(2019年度)

管理事業名	成人保健事業				総合計画の体系	大綱 3 政策 4 施策 1	福祉・健康 健康・医療のまちづくり 健康づくりの推進
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 14	保健事業費
部局名	健康医療部	予算執行所属	保健センター				
予算大事業名 成人保健事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)結核予防費 成人保健事業						
事業の目的と概要 【目的】 心臓病、脳卒中等の循環器病疾患、糖尿病疾患、がん等の生活習慣病の原因となる危険因子を早期に発見し、保健指導を実施するとともに、適切な治療に結びつけることにより、これらの疾患の予防及び重症化予防を図ります。 【概要】 がん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がん)、結核検診、骨粗しょう症検診、聴力検診、前立腺がん検診、B型・C型肝炎ウイルス検診、30歳代健診、生活習慣病予防健診、健康長寿健診、成人歯科健診、在宅要介護者等訪問歯科健診等の各種検(健)診を実施。							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
市の検診(健診)受診者数	人	181,851	175,192	170,727	各検診(健診)の受診者数
成果の説明	全検(健)診の受診者数はおおむね前年と変わりませんが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため保健センター実施の集団がん検診中止や各医療機関における個別検(健)診の中止により微減しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	1,850	1,850
府支出金(経常費用充当)	-	-	15,684	15,684
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	2,808	2,808
経常収入 小計(a)	-	-	20,342	20,342
経常費用				
給与関係費	-	-	87,637	87,637
物件費	-	-	568,943	568,943
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	800	800
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	-	6,184	6,184
退職手当引当金繰入額	-	-	△5,372	△5,372
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	-	-	658,192	658,192
経常収支差額(a)-(b)=(c)	-	-	△637,850	△637,850
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	-	-	△637,850	△637,850
一般財源充当額	-	-	650,796	650,796
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	-	-	12,946	12,946

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
国庫支出金	疾病予防対策事業費等補助金 1,850千円
府支出金	健康増進事業補助金 15,684千円
その他(経常収入)	集団がん検診自己負担金

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	-	20,342	20,342
行政サービス活動支出	-	-	671,138	671,138
行政サービス活動収支差額	-	-	△650,796	△650,796
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	-	-	△650,796	△650,796
一般財源充当額	-	-	650,796	650,796
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	(行政サービス活動支出) がん検診委託料287,000千円 成人歯科健診委託料130,239千円
--------------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
1件あたりのコスト	平成29年度		円	がん検診等の各種検診及び成人歯科健診等の各種健康診査について、検(健)診1件あたり3,856円のコストがかかっています。
	平成30年度		円	
	令和元年度	170,727件	3,856円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	-	6,184	6,184
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	-	6,184	6,184
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	-	-	-	固定負債	-	67,019	67,019
有形固定資産	-	-	-	地方債	-	-	-
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	-	67,019	67,019
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	-	73,203	73,203
インフラ資産	-	-	-	純資産	-	△73,203	△73,203
有形固定資産	-	-	-	重要物品	-	-	-
土地	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	出資金	-	-	-
固定資産	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
重要物品	-	0	0	基金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	その他債権	-	-	-
出資金	-	-	-	資産の部合計	-	0	0
長期貸付金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	-	0	0
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

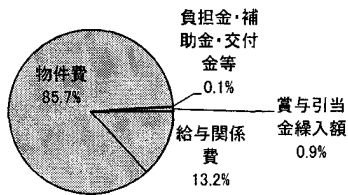
事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事証日数	実人数	
	10.76 人	人	489 日	人	
給与関係費等	81,228 千円	千円	7,221 千円	千円	88,450
内、時間外勤務手当	2,055 千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

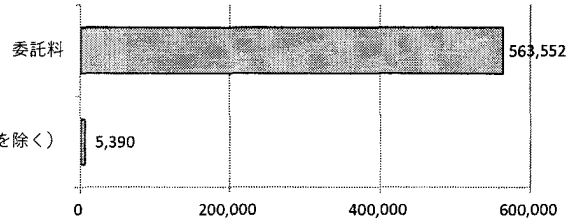
勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



需用費(修繕費を除く)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)		
		平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B
受益者負担比率		-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-
一般財源充当比率		-	-	97.0
				97.0

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

事業に係る経常経費の85.7%が物件費となっており、その内訳は各種検(健)診委託料がほぼ100%を占めています。特定財源として、疾病予防対策事業費等補助金、健康増進事業補助金、集団がん検診自己負担金があります。なお、行政コスト計算書等の各表の過年度の数値が表示されていないことについては、第4次総合計画の体系に沿って事業単位を再編したためです。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

高齢化の進展が見込まれる中で、市民の健康寿命を延ばしていくためには、がんや生活習慣病をはじめとする病気の早期発見・早期治療を目指していく必要があります。そのためには各種検(健)診等の健康施策をさらに充実させる取り組みが必要と考えています。